

大会名称: 第27回ユニバーシアード競技大会 バasketボール競技(女子)

開催場所: Mira Sports Complex

試合区分: No. 221 女子 予選ラウンド第3戦 コミッショナー:

期 日: 2013(H25)年7月10日(水)

主審: IVANOVIC Ivana (SRB)

開始時間: 18:00

副審: BELIAKOV Sergei (RUS) / WU Zhiwei (HKG)

終了時間: 19:46

日本 (通算1勝2敗)	○ 68	18 -1st- 15 12 -2nd- 14 17 -3rd- 19 21 -4th- 18 -OT1- -OT2- -OT3-	● 66	ウクライナ (通算1勝2敗)
----------------	---------	---	---------	-------------------

「第27回ユニバーシアード競技大会」女子は第3日目。女子ユニバーシアード日本代表チームの予選ラウンド最終戦(第3戦)の相手は、今大会屈指の長身者揃いのウクライナ(スターティング5の平均身長は181.1cm)。先に流れを掴んだのは日本。#11篠崎のレイアップシュートで先手を取ると、その後も脚を使ったオールコートディフェンスを展開し、相手を苦しめる。しかしウクライナも高さを生かしたインサイドアウトで#5SAMBURKIVSKAを中心に加点し、応戦する。その後は一進一退の攻防となり、何度もリードチェンジを繰り返す。最終ピリオド残り8秒、日本はこの試合28得点と大活躍の#11篠崎のジャンプシュートで勝ち越すも、残り1.8秒で痛恨のファウル。しかしウクライナはフリースローを2本外し、万事休す。68-66で接戦をものにし、今大会初勝利を挙げた。

第1ピリオド、日本は#11篠崎のレイアップシュートで先手を取ると、その後も脚を使ったオールコートディフェンスを展開し、相手を苦しめる。そこから#9本多の連続ゴール、#11篠崎のジャンプシュートが決まり、開始2分半で8-0と好スタートを切る。しかしその後、ウクライナは高さを生かしたペイントエリア内の攻撃で追い上げを見せ、日本のファウルを誘い、加点していく。残り4分、ウクライナのリバウンドショットで10-10の同点に追いつかれるが、その後日本は#12小菅の得点などでリードを保つ。最後、#11篠崎が1on1からシュートをブザービーターで沈め、18-15と日本リードで終了。

第2ピリオド、互いにシュートを放つものの決まらず、開始4分間でウクライナの1点のみとなる。しかし、この重い展開を日本#11篠崎のジャンプシュート、ドライブインから得たフリースローで断ち切り、ようやく得点が動く。ウクライナは日本の速い展開からのゴールに切れ込むドライブインに対し、ファウルが重なり、早々と4ファウルへ。すると日本は何度となく同点とされるも、果敢な攻めからファウルを誘い、着実に加点していく。最後、ウクライナのトップスコアラー#5SAMBURKIVSKAにブザービーターで3Pシュートを決められ、30-29でわずかにリードを保ち、後半戦へ。

第3ピリオド、日本はアーリーオフェンスから#5園田がバスケットカウントを沈め、35-31とリードを広げる。しかしウクライナもピック&ロールを中心にオフェンスを組み立て、インサイドアウトで得点を重ねる。その後も一進一退の攻防が続くなか、日本は#5園田がショートコーナーから果敢に1on1を仕掛け、ファウルを誘い、フリースローで得点を繋ぐ。また#8伊集も速攻の引き金を引く中心となり、チャンスと見ては自らドライブインで得点を挙げる。終盤、ウクライナは前半からフィールドゴール100%(8/8)の活躍を見せる#5SAMBURKIVSKAがジャンプシュートが決め、47-48とリードを奪われ終了。

第4ピリオド、先制したのはウクライナ。しかしすぐさま日本も#11篠崎が決め返す。日本は疲労が見え始めたものの、オールコートでプレッシャーをかけ続け、速い展開にもち込む。その後も均衡した試合が進むなか、日本は前半から好調な#11篠崎が要所でシュートを沈める。するとウクライナは、精度の高いセットオフェンスを駆使し、インサイド中心のオフェンスを展開する。何度もリードチェンジを繰り返して迎えた残り1分、64-66と2点差を追いかける日本は、オフェンスリバウンドからファウルを得た#5園田、また#8伊集のフリースローで、残り25秒に66-66の同点に。すると残り8秒、日本は#11篠崎がこのピリオドで10点目を沈め、リードを奪う。これで試合が決まったかと思っただ、ウクライナも意地を見せ、残り1.5秒に#4BILが日本のファウルを誘い、フリースローを得る。しかしこのフリースローが2本外れ、万事休す。68-66で接戦をものにし、今大会初勝利を挙げた。

予選ラウンド全試合を終え、日本は1勝2敗。カナダ、ウクライナと同率で並んだが、3チーム間のゴールアベレージにより、日本はグループC4位となり、9-16位順位決定戦へ進む。
次戦、7月12日(金) 10:00(現地時間)より中国と対戦する。